

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成30年 2月15日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 1 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	換気空調系コントロール建屋中央制御室給気処理装置(A)において、点検口より空気の吸込み(管理区域から管理区域外へ吸込み)の可能性が認められたため、当該箇所を点検・修理。なお、点検口周辺の放射性物質濃度測定結果、管理区域外への放射性物質の放出はなし。	G III	<u>2月14日</u> <u>公表済み</u>

その他: 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	固体廃棄物減容プレス機油圧ポンプ用軸継手ケースにおいて、ボルト止め部に亀裂が認められたため、当該軸継手ケースを交換。	G III	
2	2号機	換気空調系タービン建屋排気ファン(A)電動機口出線(ケーブル)端子部において、損傷(変形及び素線切れ)が認められたため、当該端子部を点検・修理。	G III	
3	2号機	直流125V(高圧炉心スプレイ系)蓄電池セルNO. 3及び51において、蓄電池容量に判定値外れが認められたため、当該蓄電池セルを交換。なお、蓄電池総電圧値は必要電圧を満足しているため機能に問題なし。	G III	
4	2号機	換気空調系コントロール建屋中央制御室給気処理装置(A)において、点検口締付ボルト(4本中1本)に折損が認められたため、当該ボルトを交換。	G III	
5	3号機	原子炉建屋天井クレーン走行モードB(重量物移送)西側極限位置検出スイッチにおいて、可動アーム部にがたつきが認められたため、当該位置検出スイッチを交換。	G III	
6	3号機	原子炉建屋天井クレーン2.8トンホイスト走行用(原子炉圧力容器ヘッド自動着脱機使用時)西側極限位置検出スイッチにおいて、動作不良(接点が切り替わらない)が認められたため、当該位置検出スイッチを交換。	G III	